

農村サステナブルフォーラムふじのくに宣言

富士山を借景にした茶園や伊豆の自然と共存したわさび栽培、地域の歴史とともに伝承された無形文化遺産「風流踊」など、四季折々の農村には変化に富んだ美しさがある。静岡県では、この地域資源を大切に守り自立した地域づくりを「ふじのくに美しく品格のある邑」として進め、地元の文化や風土を活かす美しい邑づくりの実践と、地域資源やコミュニティーを次の世代につなげていく熱い想いを繋いできた。

日本を始めとした東アジアの多くの国々では、農村が有する伝統文化や美しい景観など、数千年にわたる歴史と文化が地域の特徴を形成している。この社会的な統一と調和を大切にして形成された独自の魅力は、世界の人々を惹きつける地域資源となっている。この魅力は、フォーラムを通じて人々の心に届き、その価値を認識し、互いに話し合うことで新たな発見と共感が得られたことと考える。

少子高齢化や人口減少が進む農村では、この貴重な資源を次世代に継承することが喫緊の課題となっている。私たちは、地域住民や移住者、企業、関係団体、有識者、行政等が協力し、次の共通認識のもと、地域が自ら誇りを持つ美しい地域づくりを推進することで関係者間の絆を強化し、農村地域の持続的な発展に取り組んでいくことをここに宣言する。

- 1 世界共通の財産としての情報発信
農村地域が有する伝統文化や景観、世界農業遺産等の地域資源を世界共通の財産として認識し、国内外へ情報発信する。
- 2 農的関係人口の創出・拡大
農村の魅力を通じて関わる人々が共通の目標や価値観に基づき、地域と協力して、その価値の継承に向け行動する国民的ツアーリズムを推進する。
- 3 農村を支える新しい活力の創出
農村と専門的ノウハウを持つ企業等の多様な主体との連携により、地域資源を守り活用することで地域課題の解決や新たな事業に取り組み、農村を支える新しい活力を創出する。
- 4 国内外の交流と相互の発展
地域の特性を尊重し、持続可能な農村社会の構築により得られた知見を共に学び合い、国内外の交流を通じて相互の発展を目指す。

令和5年11月25日

ふじのくに美しく品格のある邑づくり連合会長

須藤 秀忠

農村サステナブルフォーラム参加者一同



ふじのくに
美しく品格のある邑
Beautiful and Graceful Villages in "FUJINOKUNI"